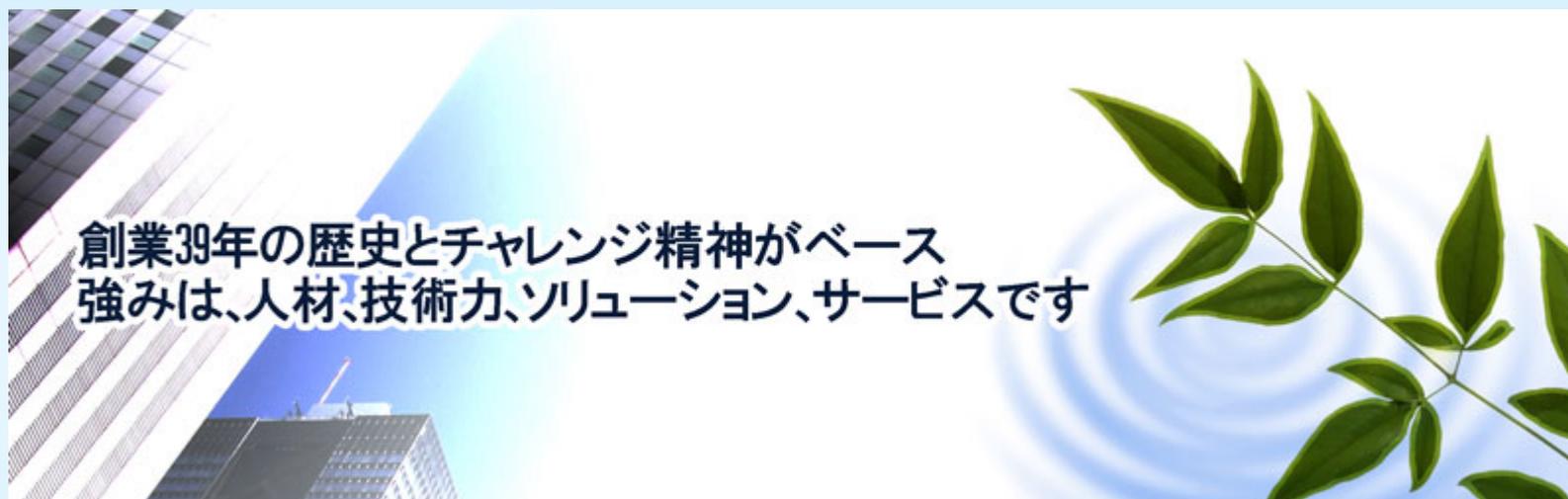


# 第39期(2010年3月期) 第2四半期決算説明会資料



2009年11月20日  
日本ラッド株式会社



## 1.会社説明

## 2.決算の状況

## 3.今後の展開

\* 補足資料

## プロダクツ販売事業

成長戦略の核として注力

エンタープライズ  
ソリューション

インフラ  
ソリューション

EC  
(Electronic Commerce)  
ソリューション

自社開発ソフトウェアのパッケージ化や、海外の優れたパッケージ・ソフトローカライズによるソリューション提供。成長戦略の核として注力。

## ソフトウェア開発事業

日本ラッドの中核事業

ビジネス  
システム

制御系  
アプリケーション

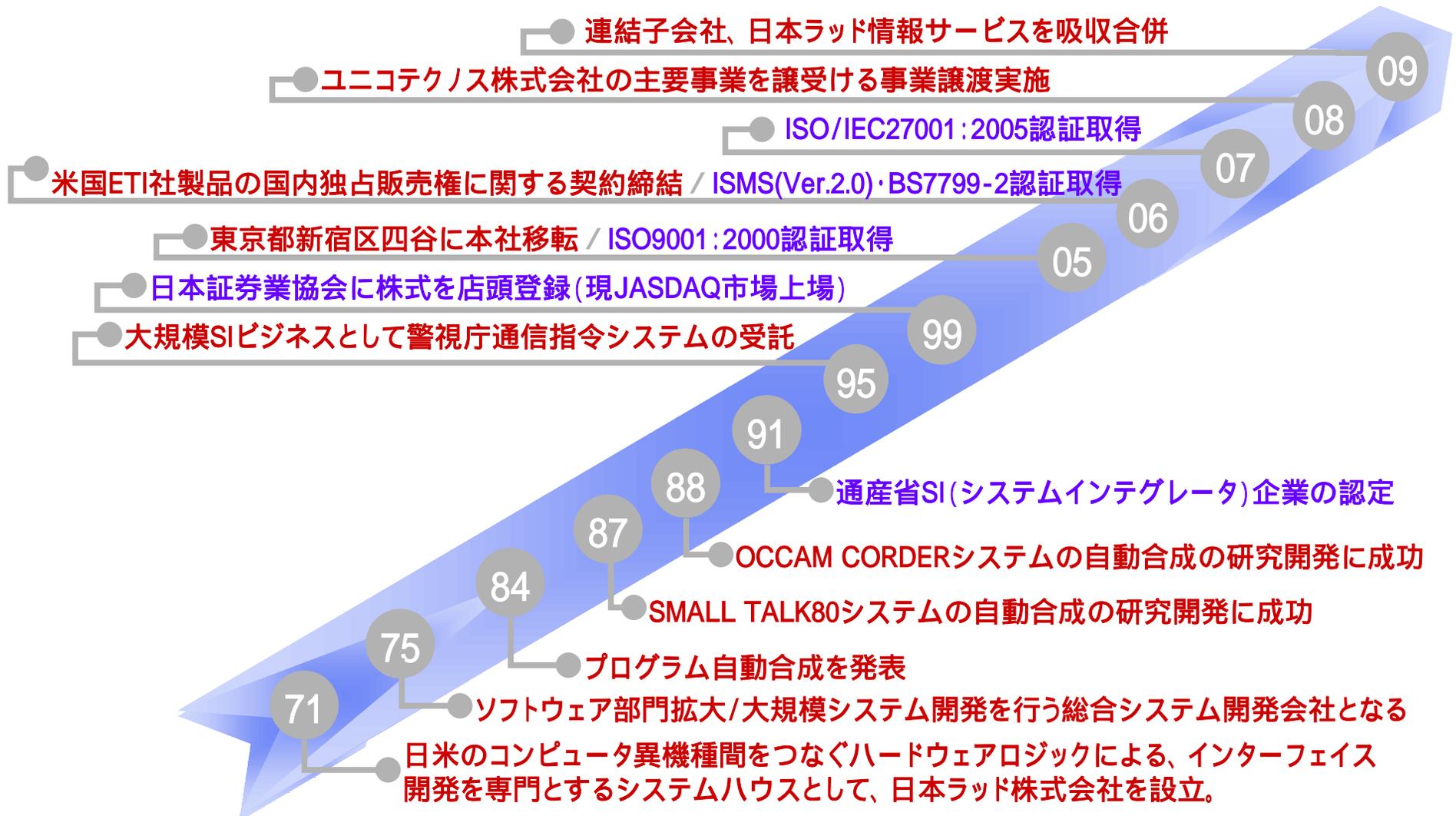
基幹大規模  
システム

制御・通信系、汎用・ミドル系、業務アプリケーション系、ハード・ファーム系の開発、コンピュータシステム構築に関連するあらゆる分野へ事業展開。

# 日本ラッドの歩み



## 39年間一貫して高い技術にチャレンジ



## プロダクツ

エンタープライズソリューション・インフラソリューション・ネット配信技術・大容量コンテンツ配信・など、公共事業や社会に貢献する製品を製造



## ビジネスシステム

大規模企業から中規模に至る、様々な企業基幹系システムを構築



## 組込系システム

組込系の制御系システム構築  
(OA機器、工場等)



# 日本ラッドグループ



**RAD** 日本ラッド情報サービス株式会社  
RESEARCH AND DEVELOPMENT Nippon RAD Information Service Inc.

データセンター事業  
ビジネスシステム  
特殊車両向け車載システム  
医療機関向けシステム

株式保有比率  
97.7%



モバイルリンク株式会社

運行管理・動態把握システム開発・販売

株式保有比率  
100%



日本ラッド株式会社

プロダクツ事業  
ビジネスシステム  
組込系システム



インサイトインターナショナル株式会社

組み込み系セキュリティーシステム  
技術翻訳

株式保有比率  
58.3%



CS放送事業  
ネット配信コンテンツビジネス

株式保有比率  
61.7%

## 関連会社

(株)トランネット

インサイトインターナショナル코리아(株)

(株)CDMJ

## 連結子会社

# Contents

---



1.会社説明

**2.決算の概要**

3.今後の展開

\* 補足資料

# 2010年3月期第2四半期 連結業績ハイライト



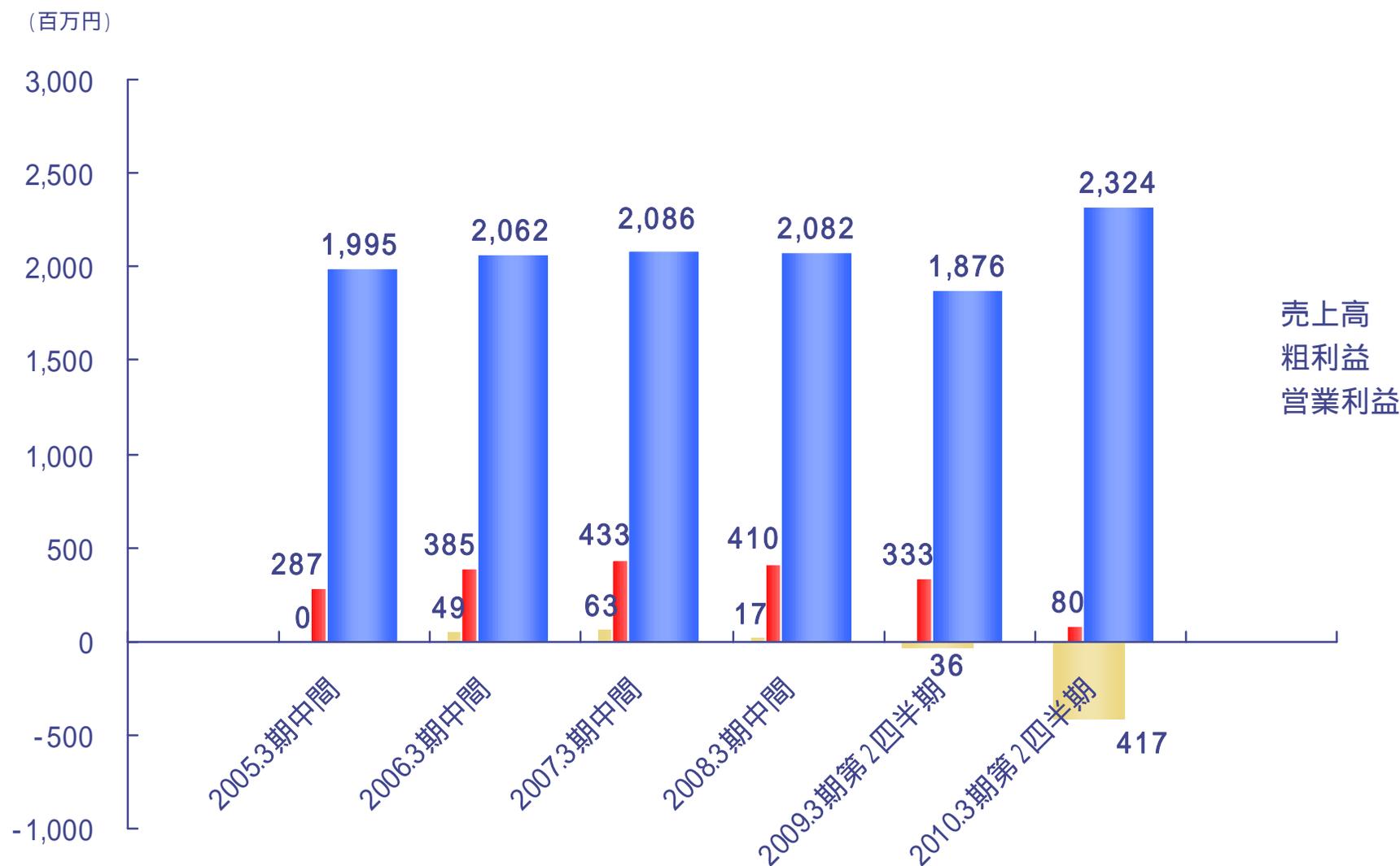
P/L (単位:百万円)	2009.3期 (08.4 ~ 08.9) 第2四半期		2010.3期 (09.4 ~ 09.9) 第2四半期			
	実績	対前年 同期	実績	対前年 同期	期初業績 予想	増減額
売上高	1,876	206	2,324	+ 448	2,681	357
営業利益	36	52	417	381	164	253
経常利益	34	44	415	381	175	240
第2四半期 純利益	14	+ 134	343	329	160	183

# 2010年3月期第2四半期 連結損益計算書

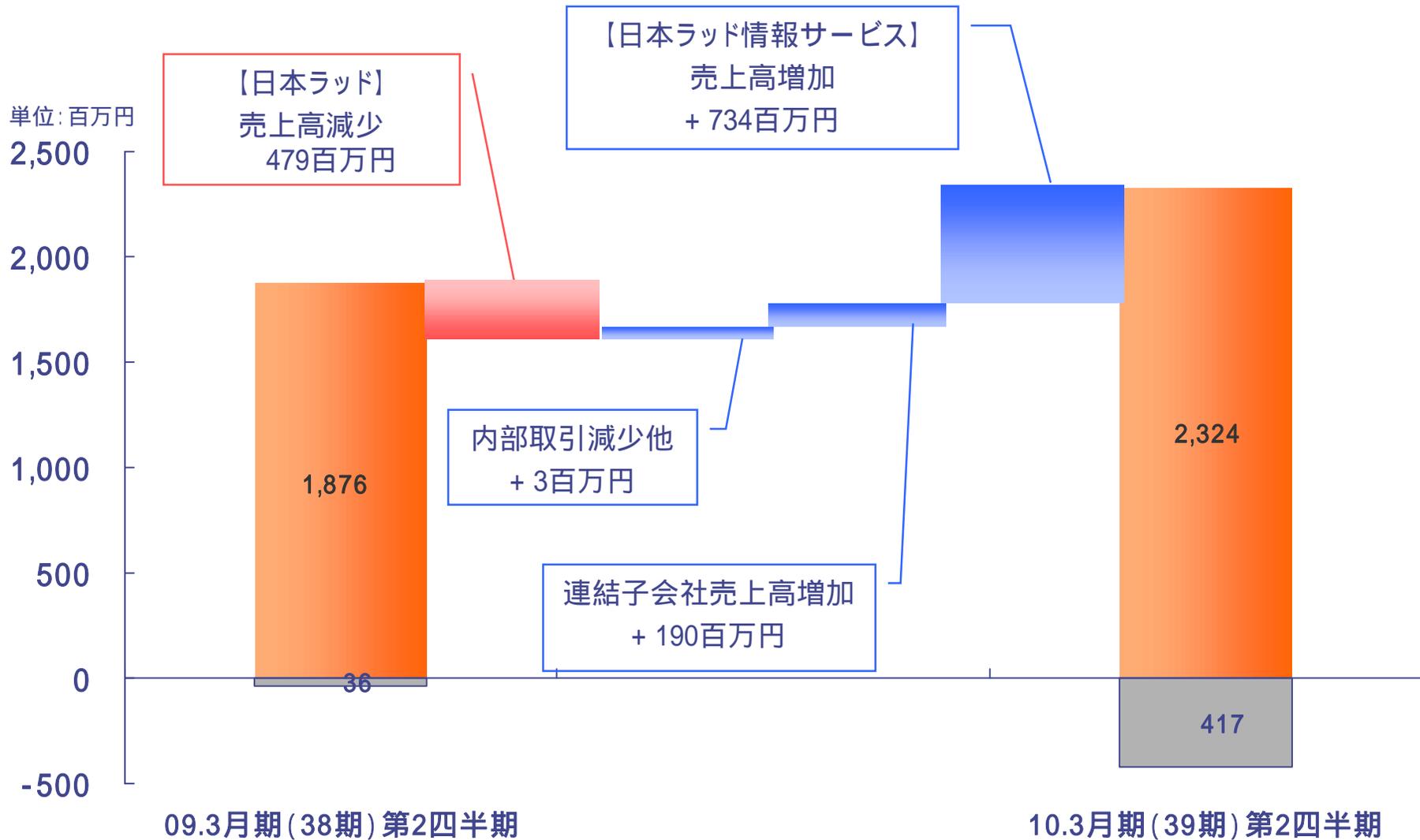


P/L (単位:百万円)	(08.4 ~ 08.9) 09.3期第2四半期実績 (売上高比率)		(09.4 ~ 09.9) 10.3期第2四半期実績 (売上高比率)		対前年同期(単位:百万円)	
					増減額	売上高比率 増減
<b>売上高</b>	<b>1,876</b>		<b>2,324</b>		448	
売上原価	1,542	(82.2%)	2,243	(96.5%)	701	↗
販管費	370	(19.7%)	498	(21.4%)	128	↗
<b>営業利益</b>	<b>36</b>	( 1.9%)	<b>417</b>	( 17.9%)	381	↘
営業外損益	2	(0.1%)	1	(0.0%)	1	↘
<b>経常利益</b>	<b>34</b>	( 1.8%)	<b>415</b>	( 17.9%)	381	↘
特別損益	23	(1.2%)	35	(1.5%)	12	↗
税金費用等	12	(0.6%)	6	(0.3%)	6	↘
少数株主損益	7	( 0.4%)	43	( 1.9%)	36	↘
<b>四半期純利益</b>	<b>14</b>	( 0.8%)	<b>343</b>	( 14.8%)	329	↘

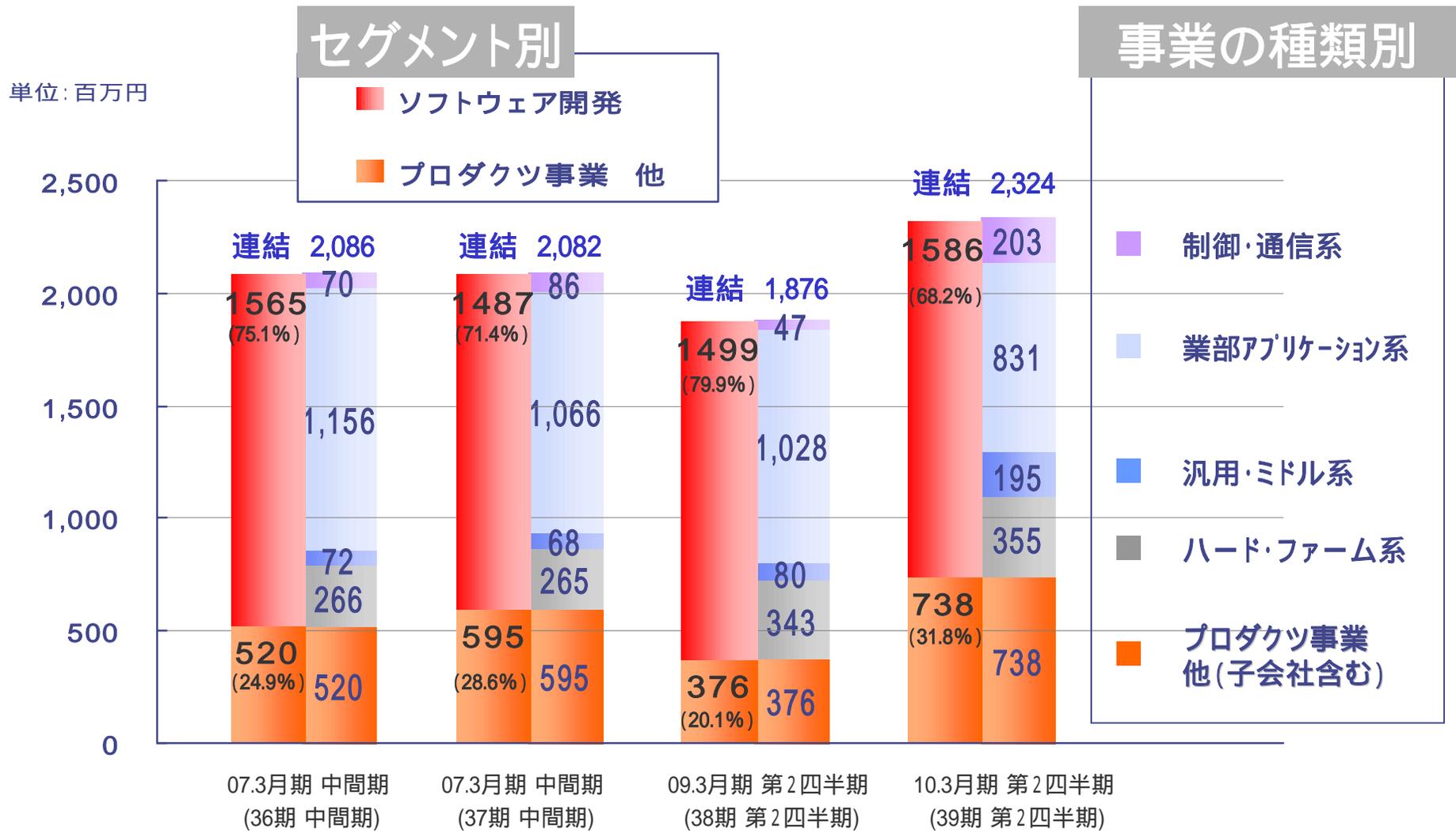
# 連結売上高と利益推移 (第2四半期 累計期間)



# 2010年3月期第2四半期 連結売上高分析 (対前年同期比)



# セグメント別売上高推移



# 2010年3月期第2四半期連結貸借対照表およびキャッシュフロー計算書



BS (単位: 百万円)	09.3月期末 (09.3.31)	10.3第2四半期末 (09.9.30)	増減
<b>流動資産</b>	<b>3,082</b>	<b>2,602</b>	<b>480</b> ↗
構成比	75.1%	72.1%	-3.0P
<b>固定資産</b>	<b>1,023</b>	<b>1,008</b>	<b>15</b> ↘
構成比	24.9%	27.9%	+3.0P
<b>流動負債</b>	<b>883</b>	<b>868</b>	<b>15</b> ↘
構成比	21.5%	24.0%	+2.5P
<b>固定負債</b>	<b>1,352</b>	<b>1,257</b>	<b>95</b> ↗
構成比	32.9%	34.8%	+1.9P
<b>純資産</b>	<b>1,870</b>	<b>1,485</b>	<b>385</b> ↘
構成比	45.6%	41.2%	-4.4P
<b>資産合計</b>	<b>4,106</b>	<b>3,610</b>	<b>496</b> ↘
CF (単位: 百万円)	09.3月第2四半期末	10.3月第2四半期末	対前年差額
<b>営業活動</b>	<b>170</b>	<b>82</b>	<b>252</b> ↗
<b>投資活動</b>	<b>35</b>	<b>13</b>	<b>48</b> ↗
<b>財務活動</b>	<b>2</b>	<b>91</b>	<b>89</b> ↗

**流動資産**

- 現預金の減少 190百万円
- 売掛債権の減少 301百万円

**純資産**

- 第2四半期純損失 343百万円
- 少数株主損失 43百万円

**営業活動CF**

➢ 売上債権の減少2億95百万円等による増加も、四半期純損失3億80百万円、の減少要因により前年比支出増。

**投資活動CF**

主に敷金の解約収入5百万円等による増加要因も、固定資産の取得17百万円等の減少要因により前年比支出増。

**財務活動CF**

➢ 社債の償還60百万円、短期借入金の返済30百万円の減少等により、前年比支出増。

# 2010年3月期決算の見通し



連結 P/L (単位:百万円)	2009.3期		2010.3期			
	実績	対前年	修正予測	対前年	期初予測	増減額
売上高	4,554	+402	5,924	+1370	6,272	348
営業利益	155	+51	91	-64	86	5
経常利益	99	+5	97	-2	66	31
四半期純利益	85	+175	39	-46	16	23

単体 P/L (単位:百万円)	2009.3期		2010.3期			
	実績	対前年	修正予測	対前年	期初予測	増減額
売上高	3,180	-264	4,330	+1150	3,265	+1,065
営業利益	42	+5	250	+208	76	+174
経常利益	26	16	278	+252	75	+203
四半期純利益	11	+185	176	+165	20	+156

# Contents

---



1.会社説明

2.決算の概要

3.今後の展開

\* 補足資料

2009年10月1日

連結子会社である日本ラッド情報サービス(株)を吸収合併



日本ラッド情報サービス(株)吸収

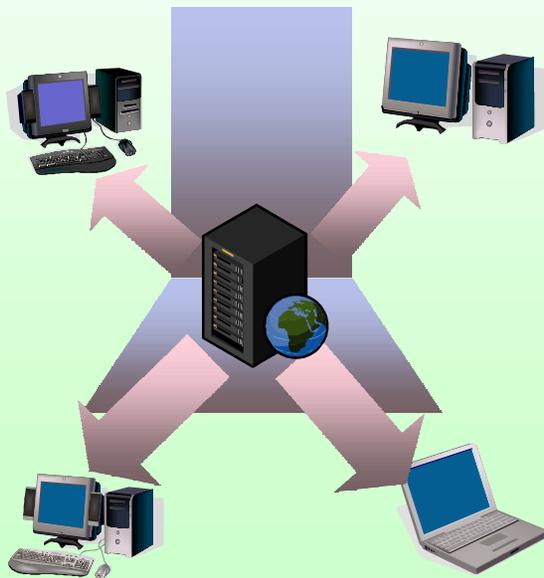


# 日本ラッド情報サービスの事業内容



## IDC事業

ハウジング / ホスティング  
小規模小売業向けVAN事業  
SaaS事業



## ハードウェア開発・販売

医療事務システム用各種端末



組み込みソフト技術・GPS  
技術をもとにした  
特殊車両向け車載端末

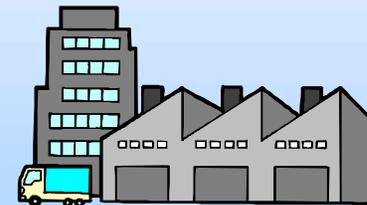


## ビジネスシステム

物流システム



自動倉庫システム



ビジネスインテリジェンス



# 新生 日本ラッド



日本ラッド株式会社  
従業員: 300名

プロダクツ



ビジネスシステム

組込系システム



日本ラッド情報サービス株式会社  
Nippon RAD Information Service Inc.  
従業員: 150名



IDC事業



ビジネスシステム

ハードウェア開発・販売

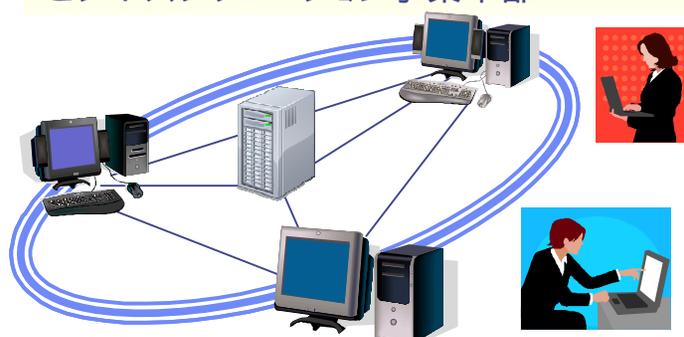


両社のシナジーを活かした総合力のあるネットIT企業

プロダクトマーケティング事業本部



ビジネスソリューション事業本部



システムソリューション事業本部



地域統括事業本部



# 新生日本ラッドの事業戦略



ソリューション  
事業の拡大

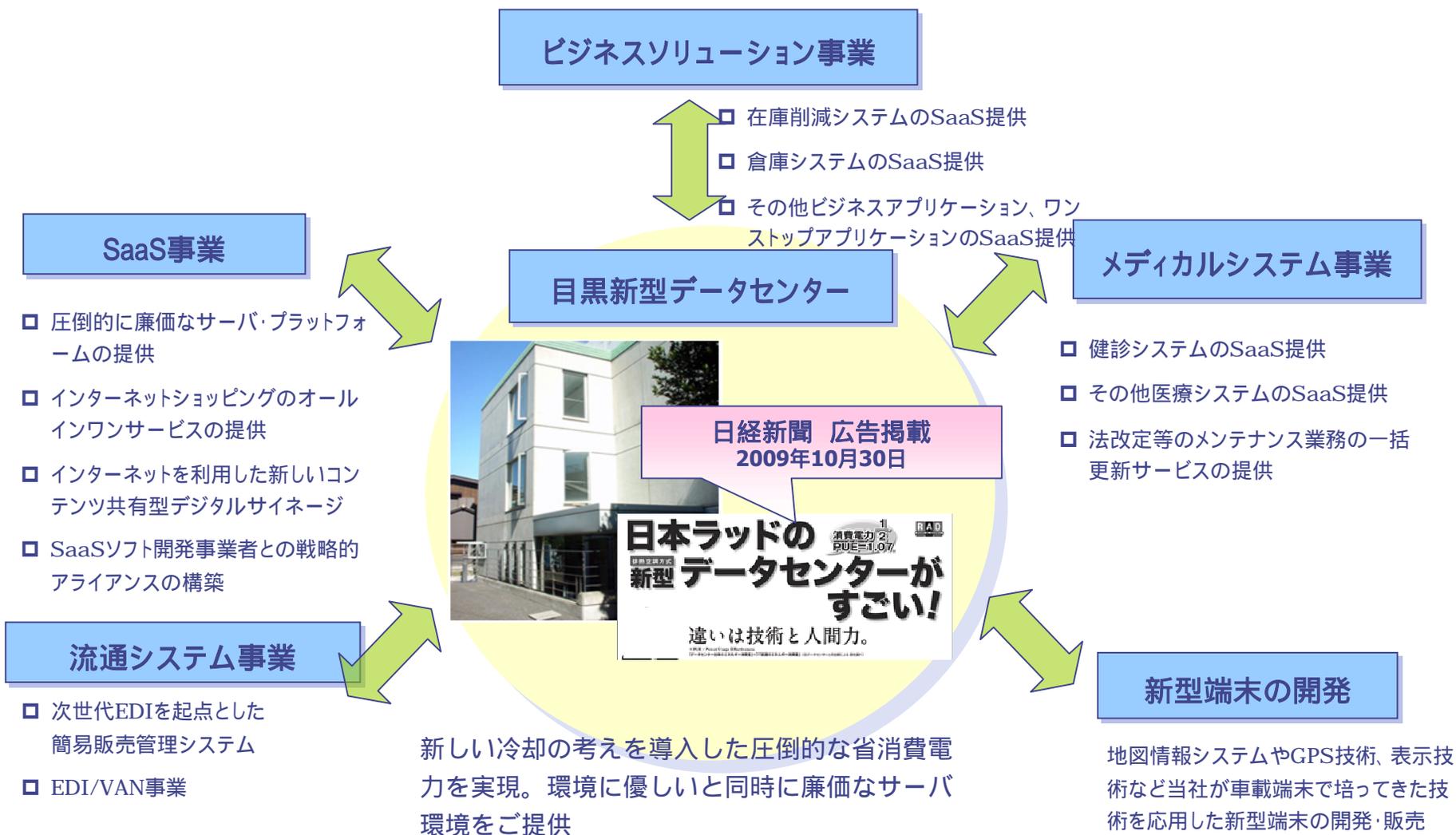
ネット事業の  
強化・推進

エンジニアリングの  
強化・推進

アライアンスの  
強化と拡大



# ネット事業の強化・推進



新しいハードウェアからビジネスソリューション、システムインテグレーションまでの一貫した開発力を活かし、お客様への多様な製品・サービスをご提供

# ソリューション事業の拡大



売上増

パッケージ商品、ビジネスソリューションなどの商材拡充

パッケージ開発ベンダーとの戦略的アライアンス

多様な販売形態

COGNOS TM1

IBM COGNOS TM1の戦略アライアンスパートナーとして認定。IBMとの協業を強力に推進

Baltan

XMLデータベース、AgilePointのBPMをベースにしたワークフロー沿ったドキュメント管理システム

新しいIECサービス

高速大容量データ配信技術を適用した新しいIECシステム。ネット教育、動画像のストリーミング配信

オンデマンド交通

過疎地向けバスの配車システム。住民サービス、環境対応。介護サービス等への展開が可能

在庫削減発注システム

中小企業でも簡単にハンドリングできる需要予測機能を内蔵。事前に在庫削減効果を分析

次世代EDI対応新販売管理システム

小規模小売業向けにEDI機能・販売管理機能を一体化。VAN事業への展開を図る

課金システム

サービス、コンテンツを商材とした新しいタイプの販売管理システム。他にパッケージ製品はない

個別損益型販売管理システム

プロジェクトの個別原価に対応した販売管理システム。予算／実績を一貫して管理が可能

医療系システム

医療用端末機器の販売で培った350病院への納入実績をベースに健診システム等新商材の販売

# エンジニアリングの強化・推進



## マーケティングエンジニアリング

ソリューションの充実  
市場開拓力の強化  
提案力の強化

顧客に対する創出効果の明確化

## ソフトウェアエンジニアリング

高生産性と高品質の追求  
ソリューションベースの  
システムインテグレーション  
業績・業務領域の選抜の深化

高収益の実現

## メンテナンスエンジニアリング

インターネットを利用した  
本部と地域事業所との密な連携  
全国のユーザーに対する  
高効率なメンテナンスサービス

顧客満足度の獲得



ツール

マニュアル

方法論

教育

# アライアンスの強化と拡大



今後とも当社は、株式の取得、包括協業契約・販売契約の締結、SaaS事業者との協業など、優良外部パートナーとのアライアンス構築を精力的に進め、当社総合力を高めて行きます。



## News Release

平成21年11月6日

### 株式会社ダイナックスとの業務提携に関するお知らせ

内容にて、株式会社ダイナックスと提携し、同社が現在提供している公共団体向けの「会員業権およびサービスシステムを譲渡取得し、同時に開発・サポート・営業の分野で業務提携を進めていくことで合意いたしました。この合意については、平成21年11月6日、両社間で正式に締結いたしました。

### ダイナックス社との包括協業契約の締結

「会員管理ASP」事業において当社の事業継続信頼性およびデータセンター事業と株式会社ダイナックスの技術力および営業力の分野で相互に補完協力することによって、今後、当社ブランドにてサービスを提供することによって、事業の拡大発展を図る。

## News Release

平成21年10月30日

### 株式会社ライジンシャ株式取得と業務提携に関するお知らせ

当社は、本日、株式会社ライジンシャの株式を取得し、同社と業務提携をすることで、協定を締結しましたので、お知らせいたします。尚、本株式の取得並びに業務提携については、平成21年10月23日開催の臨時取締役会において、決議しており、その後、両社において協議を重ね、本日、協定締結に至りました。

記

### 1. 株式取得とライジンシャの株式取得と協業契約の締結

株式会社ライジンシャも実績があります。当社は、病院の再診受付機、表示システムにおいて、大学病院等との取引実績が多くあり、当社が更にこの医療分野において市場を拡大するためには、同社のような病院システム、医療系検査システム分野に進出することが必要でありました。本件株式取得と業務提携により医療分野における市場の拡大を図ることが目的です。

## ニュースリリース

## IR情報

2009年11月9日  
日本ラッド株式会社、「NeoCoreサミット2009」で講演  
- Excelから使う施工管理システム「Baltan-HJ」 -

2009年11月6日  
株式会社ダイナックスとの業務提携に関するお知らせ

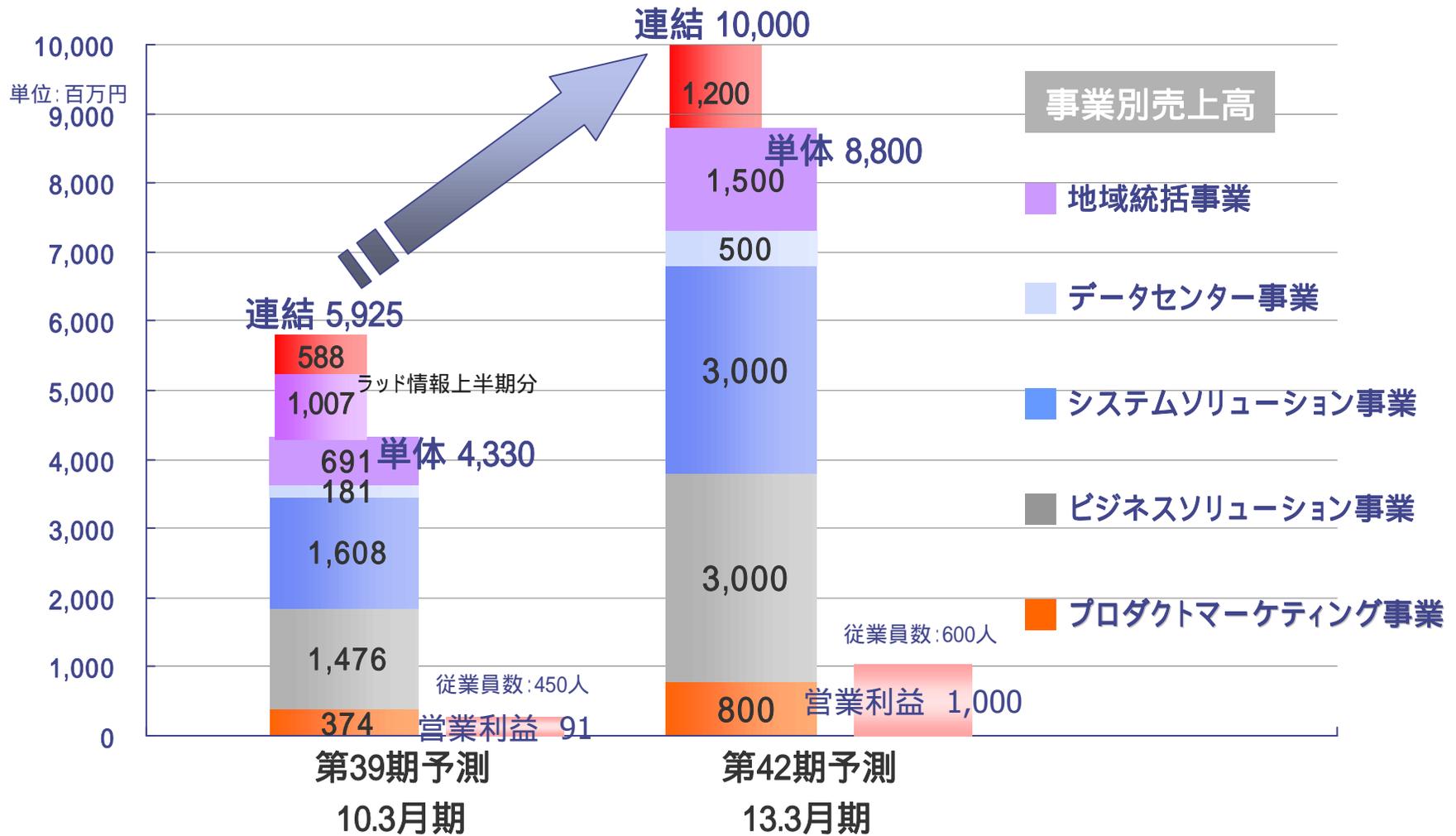
2009年11月2日  
日本ラッド株式会社、「Performance Aggregator」を「IBM Cognos Performance 2009」に出展

2009年10月30日  
株式会社ライジンシャ株式取得と業務提携に関するお知らせ

2009年10月1日  
日本ラッド株式会社、子会社の日本ラッド情報サービス株式会社を吸収合併  
- 新分野のビジネス展開で相乗効果を期待 -

2009年9月24日  
日本ラッド情報サービス（株）、病院向けデジタルサイネージシステムの開発・販売を開始  
- SCALA株式会社とデジタルサイネージ・ソフトの販売パートナー契約を締結 -

# 3カ年計画



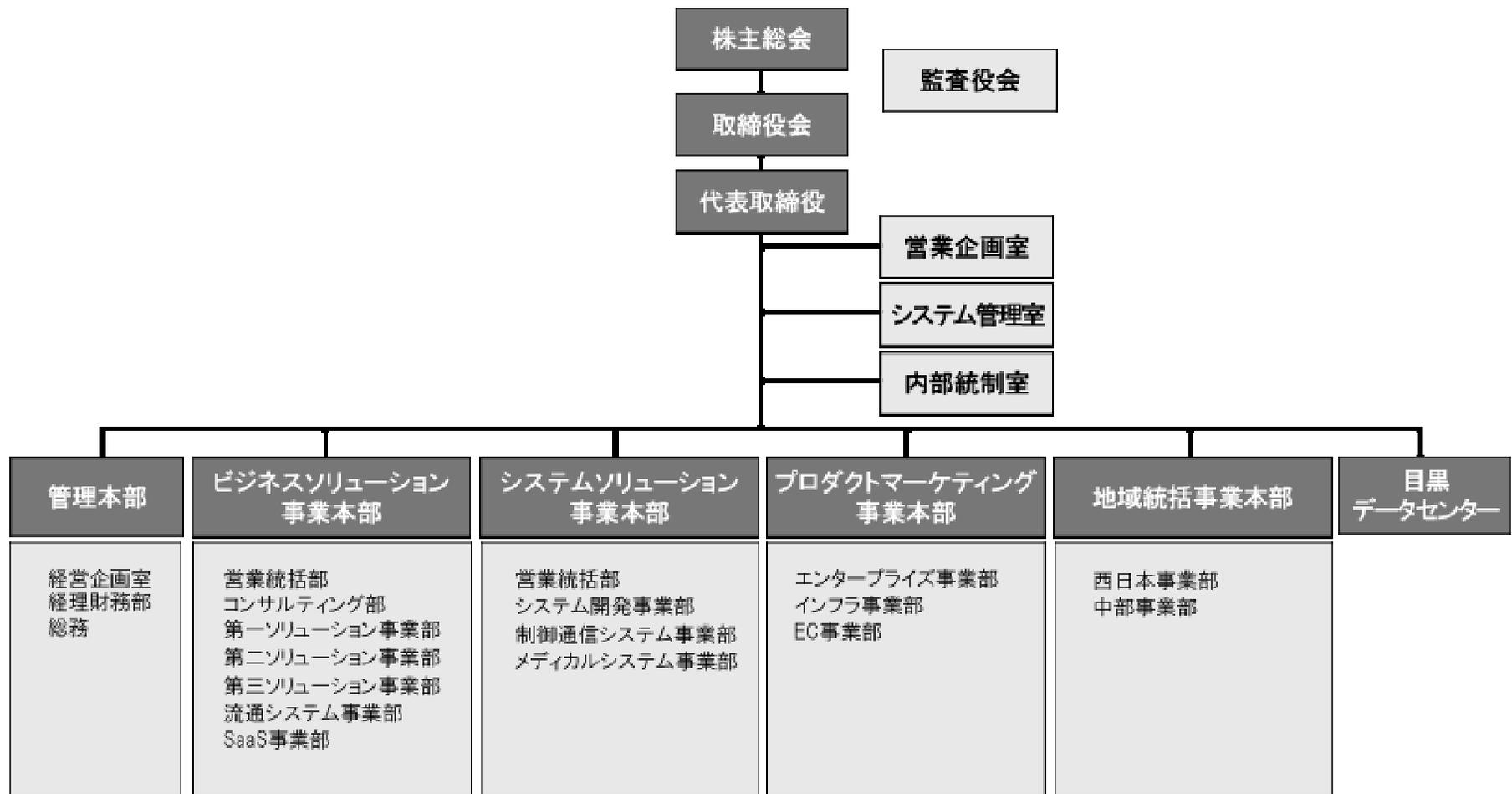
## \*補足資料【会社概要】



設立	1971年6月7日
上場	1999年11月9日 (JASDAQ 4736)
事業内容	システム設計・開発、ハードウェア開発・販売 パッケージソリューション開発・販売
代表者	代表取締役会長 大塚 隆一 代表取締役社長 長岡 均
決算期	3月
資本金	7億7,283万円
発行株式数	4,505,390株
従業員数	単体:306名 連結:460名(2009年9月30日現在)
事業所一覧	本社(東京都新宿区:写真)、大阪、名古屋、 浜松、金沢、松本、目黒、横浜 (2009年10月31日現在)



# \* 補足資料【組織図】





# 日本ラッド株式会社 NIPPON RAD INC.



日本ラッドは大和インベスターリレーションズ株式会社が発表した「インターネットIRサイトの優秀企業」に選定されました。

資料に関してのお問い合わせ先  
経営企画室 TEL03-5919-3001

<http://www.nippon-rad.co.jp/>

本資料は、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。  
本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点で入手可能な情報に基づく当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後予告なしに変更することがあります。